

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院放射線科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

当院で2014年6月1日から2018年6月30日の間にドーパミントランスポートシンチグラフィ(DATscan)を受けられた方

### 【研究課題名】

ドーパミントランスポートシンチグラフィの解析手法の違いによる定量指標への影響

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

ドーパミントランスポートシンチグラフィにはいろいろな解析方法があります。それらの方法の違いが検査結果の評価、診断能にどのくらい影響するか調べます。

#### 《研究に至る背景》

ドーパミントランスポートシンチグラフィは脳の中のドーパミン密度を調べる検査で、パーキンソン病やある種の認知症の診断、治療方針を考えるうえで大切な検査です。この検査はいろいろな解析方法がありますが、それぞれの解析方法による解析結果の違いや診断能への影響はまだ明らかになっていません。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年12月26日 ～ 2020年12月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院放射線科 今井 昌康のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院・虎の門病院分院の院外へ提供する場合】

本研究では診療情報を虎の門病院外へ提供することはありません。

【利用する診療情報】

ドーナミントランスポータシンチグラフィの画像データを利用します。また、診断の確認等のため、診療録、MRI・CTなどの画像データ、検査データ、薬歴を参照します。

【虎の門病院における研究責任者】

放射線科 ・ 丸野 廣大

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2019年1月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 放射線科 ・ 今井 昌康

電話 03-3588-1111(代表)